



流行性角結膜炎と咽頭結膜熱にご注意を！

令和6年6月12日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和6年第23週分・6月3日～6月9日)

《インフォメーション》

●流行性角結膜炎・咽頭結膜熱

流行性角結膜炎および咽頭結膜熱は、主にアデノウイルスによる急性感染症です。流行性角結膜炎は小児に多い疾患ですが、成人にもみられます。1～2週間の潜伏期間の後に、結膜の浮腫や充血、まぶたの腫れ、目やに、涙が出るといった症状が出現します。今年の流行性角結膜炎の県内の定点医療機関からの報告数は第16、17週において一時的に急増しましたが、今週は0.29人/定点と例年と同程度で推移しています(上図)。

咽頭結膜熱は小児に多い疾患です。5～7日の潜伏期間の後に、発熱、頭痛、食欲不振、全身倦怠感、咽頭痛、結膜充血といった症状が3～5日間程度持続します。プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるため、「プール熱」とも呼ばれることもありました。一般的には夏季に流行が見られる感染症ですが、昨年は秋季、冬季にも大きな流行が見られました(下図)。今年に入ってから県内の報告者数は例年に比べ多く、今週2.14人/定点となりました。今後も引き続き注意が必要です。

アデノウイルスは感染力が強く、患者が触れたものを介して感染する接触感染や、飛沫感染により感染します。次の事項に注意して、家庭内や施設内での感染を防ぎましょう。

- ✓ 流行時には石鹸と流水で手を洗う頻度を高める。
- ✓ タオルやハンカチ、点眼薬などの共用は行わない。
- ✓ おもちゃや食器等を消毒する際にはアルコールが効きにくいいため煮沸、塩素消毒等を行う。

《全数報告の感染症》

- 二類感染症 結核 1件 (30歳代、女性)
- 四類感染症 レジオネラ症 1件 (60歳代、男性、肺炎型)
- 五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症 1件 (70歳代、男性)
- 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 (80歳代、女性)

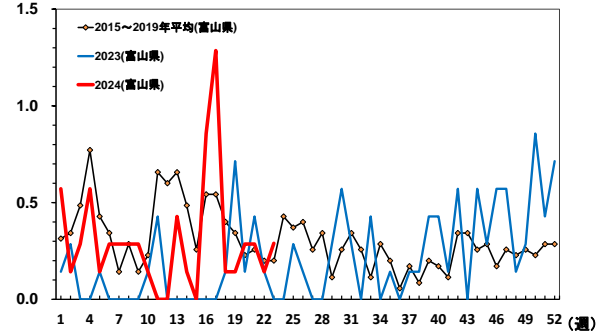
《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週(増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	6.64 (↓)	7.00
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4.89 (↓)	5.10
3位	手足口病	3.61 (↑)	1.31
4位	COVID-19	3.37 (↑)	3.08
5位	咽頭結膜熱	2.14 (↑)	1.34
6位	RSウイルス感染症	1.79 (↑)	1.59

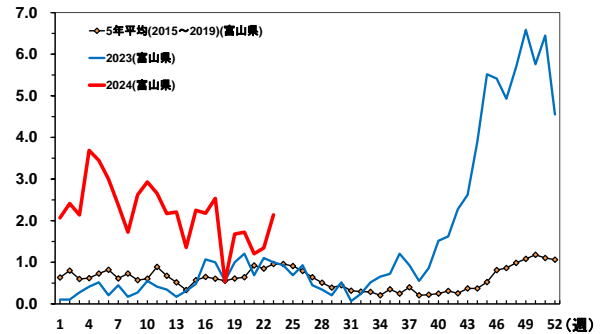
富山県感染症情報センターURL: <https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>

※第9週分以降、URLが変わりました

(人/定点) 流行性角結膜炎報告数の推移(富山県)



(人/定点) 咽頭結膜熱報告数の推移(富山県)



○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第23週 令和6年6月3日～令和6年6月9日）

分類	疾患	今週報告分（第23週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核				1	1	6	2	17	4	24	53		
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く				1	1	3	2	8	2	13	28		
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1	1	3	5		
	四類感染症	E型肝炎										1	1		
		レジオネラ症					1	1	1	7	1	13	22		
	五類感染症	アメーバ赤痢										2	2		
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症					1	1			2	8	10		
		急性脳炎									1	1	2		
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		2	1	8	12	
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	2	3	
		侵襲性インフルエンザ菌感染症			1			1			2	1	2	5	
		侵襲性髄膜炎菌感染症										1	1	1	
		侵襲性肺炎球菌感染症							2		1		4	7	
水痘（入院例）								1	1				2		
梅毒										2	3	5	10		
播種性クリプトкокクス症											1	1			
百日咳											1	1			
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（46定点）	インフルエンザ						1,066	1,028	4,030	1,561	5,065	12,750		
		COVID-19	31	12	47	29	36	155	1,211	726	2,251	1,216	1,992	7,396	
	小児科定点（28定点）	RSウイルス感染症	1	1	34	4	10	50	22	48	159	27	176	432	
		咽頭結膜熱	6	19	23	1	11	60	72	221	579	31	546	1,449	
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	6	2	63	17	49	137	154	147	2,180	273	971	3,725	
		感染性胃腸炎	20	20	48	4	94	186	557	560	1,245	635	2,829	5,826	
		水痘							1	11	59	8	41	120	
		手足口病	2	27	6		66	101	15	58	41	1	97	212	
		伝染性紅斑					2	2			6	1	2	9	
		突発性発しん	2		4		6	12	6	9	62	14	55	146	
		ヘルパンギーナ	1	2	3	2	13	21	50	6	3	5	16	80	
		流行性耳下腺炎					1	1			3	2	5	10	
		眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎										2		2
			流行性角結膜炎			2			2	8	1	26	5	9	49
		基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎										3		3
			マイコプラズマ肺炎			1		1	2			6	1	1	8
			感染性胃腸炎（ロタウイルス）			1.00		1.00	0.40			1			1
入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）							21	10	31	48	69	179		
	COVID-19による入院患者	1	2	2	5	26	36	98	100	69	124	325	716		

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。